

平成30年11月5日(月)

ラグビー花園は来年へ

先週末、いわきグリーンフィールド競技場におきまして、準決勝、対 松韻
福島戦は、14-38で負けました。

そういえば、平成14年の秋にも、決勝でしたが、悔しい思いをしたのを思
い出しました。小松選手が、人目もはばからず大泣きしていたのが重なりまし
た。(フランス語"déjà-vu"よりデジャヴュ)

大の男が、それも人1倍でかい男たちが、感極まって泣き出すのを見て、来
年こそはとぐっと奥歯をかみしめ、言葉を飲み込んでいました。

朝の6時45分過ぎには、一番初めにラグビー部の自転車部隊が校門をくぐ
ります。いつも、加藤や岸波や瀬谷がやってきて、航太郎、光志朗や金子、赤
土、1年生、2年生もやってくるのです。

今日からは、やって来ないでしょう。3年生たちよ、ゆっくりときていいぞ。
でも、受験に心を入れ替えような。

1, 2年生は、来年に捲土重来を期すべし。特に、モールを粉砕すべし。倍
返しのリベンジを図るべし。

モールを幾たびもやってくる敵に、何人もの磐城フォワードは口々に、
「いつでも何回でもやってきてみろ、いつでも俺たちが止めてやる。」と叫ん
でいたその闘志を忘れるな。

全校応援のノーサイドでの優勝が見たい。100回の花園に磐城を送りだし
ましょう。